

令和 3 年 9 月 30 日

**JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に本学の申請が採択され、
199 人の学生が支援を受けることができます**

広島大学は国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」(以下、「本事業」という。)の実施機関に採択され、199 人の学生を支援します。支援人数は採択された 40 大学中で 10 番目。100 人を超えるのは中四国唯一で、西日本では京都大学、大阪大学、九州大学に次ぐ数です。

本事業は、大学の研究科や研究室など既存の枠組みを越えて優秀な博士課程後期学生の選抜等を行う事業統括を選定し、そのリーダーシップのもと、当該博士課程後期学生に対する様々な支援を実施・展開する大学の取組を国として支援するものです。

本学は、本事業の実施機関に採択されたことに伴い、博士課程後期の学生が安心して研究に集中できる環境を整え、将来の日本の科学技術・イノベーションの基盤となり、国際社会の持続的な発展に貢献できる博士人材の育成を推進することを目的として、「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」を創設し、本事業で支援する学生(以下、「次世代フェロー」という。)の選考を開始しています。

本プログラムでは、広い視野と知識をもち、優れた判断力と行動力を有する総合的な力で、SDGs 達成+Beyond に貢献し、世界をより良くする取組を推進できる人材を育成します。

そのために、次世代フェローには、研究専念支援金(生活費相当額)として年額 180 万円、研究費として年額 40~70 万円を支援するとともに、海外の研究機関への研究留学の機会の提供や、研究力向上、キャリア開発・育成に係る様々な取組を実施する予定です。

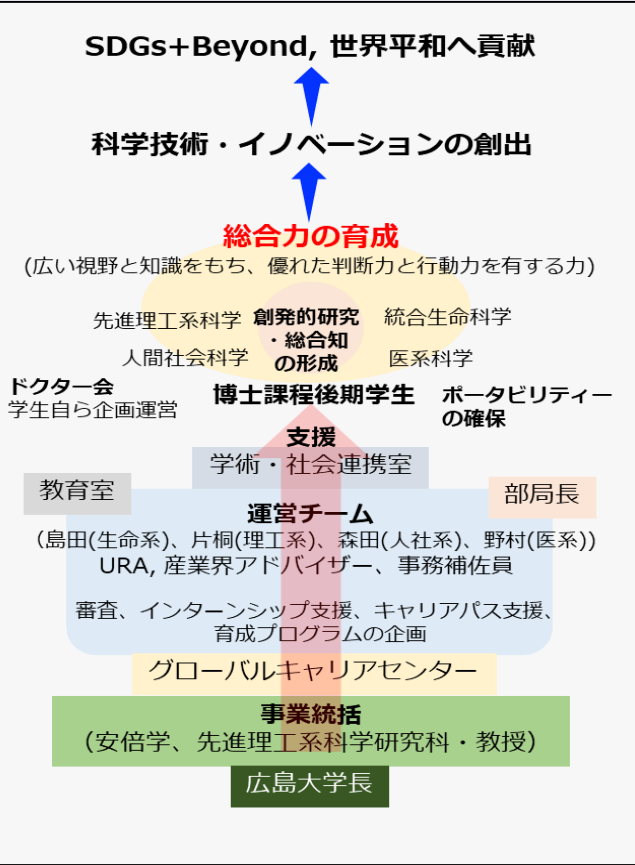
また、次世代フェロー自らが企画し運営する「ドクター会」(仮称)を設置し、次世代フェロー同士の交流を深めながら、主体的に研究力向上の取組を実施していただきます。

本学は、本プログラムや大学院リサーチフェローシップ制度、その他の支援制度を通じて、学生が研究に専念できる環境を整え、日本の科学技術・イノベーション創出に貢献いたします。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携部 企画グループ・稲鍵
E-Mail : kenkyu-conso@office.hiroshima-u.ac.jp

概要：広島大学は、平和を希求する精神、新たなる知の創造、豊かな人間性を培う教育、地域社会・国際社会との共存、絶えざる自己変革、という理念5原則の下、**世界トップクラス**に比肩する研究大学を目指して、国内外の優秀な研究者や学生を獲得できる**教育研究環境(特別な研究費、給与等)**を整備することを第4期中期目標に掲げることとしている。本学生支援プログラムでは、将来を担う博士課程後期学生に、研究専念支援金と研究費を支給し、世界平和に繋がる、例えば、カーボンニュートラル、Society 5.0の達成に寄与する飛躍的な科学技術の**イノベーションの創出を促す創発的な場(ドクター会・仮称)**を提供する。このことにより、**研究領域の垣根を超えた総合知を生み出す次世代の研究者を育成・支援**する事ができる。本学生支援プログラムによって培われる広い視野と知識をもち、**優れた判断力と行動力を有する総合力**を通じてSDGsの達成に貢献し、**世界をより良くする取り組みを推進**する。将来の学術研究を担う優れた若手研究者を養成・確保する日本学術振興会・特別研究員制度と科学技術のイノベーションに特化した文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」との相乗効果により、日本の研究力をさらに向上させる。



取り組み

- ①育成コンテンツ：ドクター会を設置し、学生自身の意志で運営する研究報告会などを開催し、博士課程前期、学部生を巻き込む取り組みをサポートする。
- ②能力開発：HIRAKU-PF, 研究力向上セミナー、学生が自ら企画する研究会
- ③キャリアパス支援：産官学インターンシップ、海外研究機関・企業への派遣

対象学生

- ・博士課程後期又は4年制の博士課程
- ・年収240万円以上の学生、日本学術振興会の特別研究員、国費外国人留学生、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生、広島大学大学院リサーチフェロー、オーバードクターを除く

支援額

- ・研究専念支援金（生活費相当額）：180万円/年額
- ・研究費（物品、旅費等）：40～70万円/年

支援学生数（2021年度）

- ・1年次生 40名程度、2年次生 72名程度、3年次生 72名程度、4年次生 15名程度
- ・合計：199名

選考

- ・他分野の方に研究内容をわかりやすく説明する能力
- ・研究内容の社会における位置づけ（社会的背景）
- ・学位取得後のキャリアプラン

資金調達

クラウドファンディング、産官学連携コンソーシアムの強化